

<期待される効果>

- 水稻栽培において、多くの労力を費やす水管理作業の時間と人手を軽減します。
※ 自宅や作業場から離れている圃場に設置すると効果的
- 無駄な給水・排水を減らすことで、用水の効率的な活用ができます。(渇水時の効果大)
- 正確な水管理が可能となり、初期成育促進や高温障害対策など品質向上の効果も期待できます。

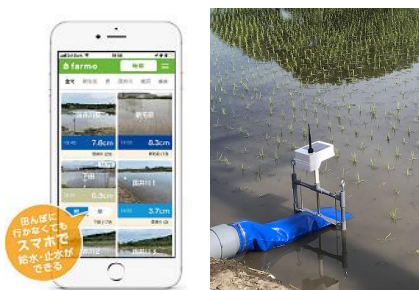
<主な装置の種類>

給水のみ

アクアポート (北菱電興株)



水田ファーモ (株farmo)



【特徴】

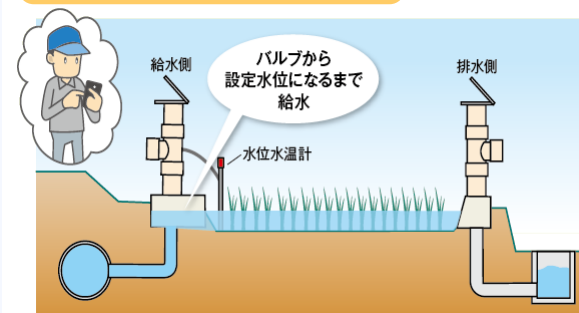
- 圃場の水位をセンサーで感知し、ホースや筒内のシャッターを上下させて、自動で給水と止水をおこなう。
- 水位センサーと連携させ、水入口から流れる水の給水・止水をスマートフォンからおこなえます。(水田ファーモ)
- 機能がシンプルのため低価格。
- 開水路・パイプライン専用タイプが多い。

給水＋排水

WATARASU (株クホ'タケミックス)



▲開水路の設置例



【特徴】

- スマホやPCでモニタリングしながら、給・排水を遠隔操作する。(水温測定も可能)
- タイマー設定による間断灌漑やスケジュール運転など高度な水管理が可能。
- 給水タイプに比べ高額なうえ、別途通信料も必要。